

ゴードン・ブラザーズ、米 Toys“R”Us®と Babies“R”Us®の全店閉店セール業務を受託（米国）

2018年3月23日

114年の歴史を持つ世界的なアドバイザー・企業再生（リストラクチャリング）・投資会社であるゴードン・ブラザーズ（Gordon Brothers）は、グレート・アメリカン社、ヒルコ社、タイガー・キャピタル社と4社共同で、米国とプエルトリコ準州のToys“R”Us®とBabies“R”Us®の735店舗の閉店セール業務を受託しました。対象店舗のすべての在庫・什器・備品が販売対象となり、セールは完売次第終了する予定です。

Toys“R”Us®は、1948年の創業以来、幼児や子供用の多くの種類の玩具とそれに関連する素晴らしいサービスを提供し、世界中で子供用玩具のプレミアストアとして支持されてきました。

対象の資産は定価で20億米ドル（約2,000億円）以上あり、事業撤退に伴い、全カテゴリに亘り有名ブランドを含む全商品について大幅割引が予定されています。ゴードン・ブラザーズ他3社は、現時点でもToys“R”Us®社の店舗でセールを実施していますが、残りの735店舗での閉店セールも実施します。

広報担当者によると、「今回はトップブランドの商品を非常に安い価格で購入できる最後の機会となるので、最寄の店舗に是非お越しください。また認知度が高く、信頼されている企業であるため、品ぞろいが良いうちにお早めにご来店をいただくようお願いします。商品は非常に早いペースで売れて行く見込みです。」